

[事故情報]

<発生状況>

<日時> 平成 19 年 2 月 12 日午後 6 時半頃

<場所> 福岡県

<状況> 父・子が入浴中、子供さんが気分が悪くなり(父は頭痛あり)病院にて一酸化炭素(CO)中毒と診断され、子供さんのみ 3 日の入院治療を行った。

(2 月 14 日退院)

<使用器種>

パロマ PH-12 号 A(30)

(半密閉式自然排気式(CF 式)湯沸器)

<事故原因について>

当該機器が建物のブラントドフルー式(次頁参照)排気ダクトに接続されています。台所レンジフード換気扇を使用することで、屋内が負圧となり排気が屋内に溢れたと思われます。

尚、取扱説明書には下記のように記載されています。

《警告》

換気に注意。

使用中はレンジフード、換気扇を使用しない。

→室内に排ガスが逆流し一酸化炭素中毒の恐れがあります。

原因については継続して調査しております。

<湯沸器をお使いの方へ>

自然排気式(CF 式)湯沸器をお使いの時は、レンジフード、換気扇を使用しないように注意して下さい。

湯沸器、給湯器をお使いの時、少しでも異常を感じたらパロマコールセンター(フリーダイヤル 0120-193860)へ連絡をお願いします。

<問い合わせ先>

この件に関してのお問い合わせは下記へお願いします。

パロマお客様相談室 電話番号 052-824-5145

ブランチドフルー式

ブランチドフルー式は、中高層集合住宅向けの設備として従来から用いられていましたが、住戸の気密性等の問題から、最近の集合住宅では屋外式ガス機器が多く用いられます。しかし、開放条件の悪い廊下等に設けられたCFチャンバ設置式の利用や既設建物の給排気設備の改善の場合、寒冷地の特殊事情による場合に、この方式が適用できます。

ブランチドフルー式

